

令和元年度下半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市文化会館(岐阜市民会館)	所管課	ぎふ魅力づくり推進部 文化芸術課
所在地	岐阜市美江寺町2丁目6番地		
指定管理者名	一般財団法人 岐阜市公共ホール管理財団		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☒ 使用料 ☐ 利用料金 ☐ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	337, 498, 314円(令和元年度、岐阜市文化センターと合算)		
施設の設置目的	市民の文化及び教養の向上と福祉の増進を図るため。		
施設概要	ホール、展示ギャラリー、会議室(2室)、多目的ルーム(2室)、練習スタジオ、和室		

●利用状況

		R1 下半期	R1 上半期	H30 下半期	H30 上半期	H29 下半期
利用者数(単位:人)		51,197	65,361	63,539	58,588	78,626
各室稼働状況(%)	大ホール	46.6%	36.9%	62.4%	36.9%	61.3%
	展示ギャラリー	29.6%	37.1%	41.1%	27.4%	35.1%
	会議室80	28.4%	34.9%	30.4%	37.7%	45.2%
	会議室48	41.4%	52.0%	54.2%	60.6%	70.8%
	多目的ルームA	27.8%	53.1%	47.0%	50.3%	53.6%
	多目的ルームB	32.5%	45.1%	53.6%	38.3%	39.9%
	練習スタジオ	55.6%	69.7%	68.5%	70.9%	68.5%
	和室	39.6%	38.3%	42.3%	40.6%	44.0%

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適正な運営を実施した。 ②施設開館時間に人員の不足がないよう、職員10人をローテーション勤務で配置した。適宜接遇研修などの研修を実施し、業務を適切に遂行した。 ③年間の広報計画に基づき、広報ぎふや、フリーペーパー、さらに有料広告を活用し、積極的な広報活動を実施した。 ④指定管理者が定めた受付マニュアルに基づき、適切に対応した。
自主事業・提案事業	下記自主事業の実施 ①市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」事業 ②子ども伝統文化体験教室・発表会(和太鼓)&出前講座(能楽) ③第41回ぎふアジア映画祭 ④市民スタッフ事業 ⑤市民プロデュース公演応援プロジェクト〈公募〉 ⑥ぎふ演劇ワークショップ2019 ⑦岐阜市中学校美術作品展2019 ⑧「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業 ⑨戯曲セミナー&リーディング発表会 ⑩市民スタッフ育成事業	①市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」事業 ・1月19日(日) 第12回ぎふジャズフェスティバル実施 1,278人 ②子ども伝統文化体験教室・発表会(和太鼓)&出前講座(能楽) ・12月10日(火) 能楽出前講座 加納西小学校 97人 ③第41回ぎふアジア映画祭 ・10月13日(日)～11月30日(土) 1,659人 ④市民スタッフ事業 ・12月21日(土) ぎふ文化センター寄席 480人 ⑤市民プロデュース公演応援プロジェクト〈公募〉 ・12月8日(月)第26回採択事業 『声宣会オペラシリーズNo.27 マスネ作曲「サンドリヨン」(シンデレラ)フランス語上演』258人 ・1月20日(月) 第27回審査会実施 ⑥ぎふ演劇ワークショップ2019 ・2月15日(土)・16日(日) 一般の部 26人 ・3月20日(金・祝)～22日(日) 中学生の部 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止 ⑦岐阜市中学校美術作品展2019 ・市内中学校2校の展示を1月単位で実施 ⑧「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業 ・10月5日(土) 長森西小学校出前コンサート実施 457人 ・10月18日(金) 三輪南小学校出前コンサート実施 593人 ・11月4日(月・祝) さんぽde野外ライブ ・12月1日(日) 第8回ぎふ市場まつり ・12月18日(水) 第11回ぎふジャズフェスティバル ビデオ上映会 27人 ・12月18日(水) クリスマス・ジャズ講座 255人 ⑨戯曲セミナー&リーディング発表会 ・1月11日(土) 第14回優秀短編発表会 121人 ⑩市民スタッフ育成事業 ・10月19日(土) 劇場フロントスタッフ研修 ・2月23日(日) 出張研修 バロー文化ホール(多治見市)
施設管理	①清掃業務 ②守衛業務 ③受付業務 ④建築物環境衛生管理業務 ⑤エレベーター設備保守点検 ⑥各種点検業務	毎日の日報及び実地調査にて履行状況を確認 ①清掃業務 ・日常清掃(開館前清掃、施設使用後の清掃)について計画通り実施 ・定期清掃(ワックスかけ、ガラス清掃、絨毯清掃)について計画通り実施 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため特別清掃として手すり、ドアノブ等の消毒を実施 ②守衛業務 ・定期巡回(午前5時、午後7時、午後11時)、鍵・扉の開施錠業務、照明の点消灯業務、駐車場の管理業務について計画通り実施 ③受付業務 ・毎日午前8時～午後8時までの受付、案内、接遇、電話対応、簡易な事務補助、OA機器操作補助、催し物掲示板整理業務について計画通り実施 ④建築物環境衛生管理業務 ・貯水槽の清掃、水質検査業務、汚水槽・排水槽の点検清掃業務、病虫害等調査・防除業務について計画通り実施 ⑤エレベーター設備保守点検 ・月1回の点検を実施 ⑥各種点検業務 ・実施計画に基づき、順次実施

施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	経年劣化等による故障を受け、速やかに修繕を実施した。 ・大ホール客席2階天井等貼替修繕 ・大ホール入口扉修繕 ・事務所空調機修繕 自主点検等による、先を見越した修繕及び利用者の利便性向上に繋がる修繕を実施した。 ・ホール椅子修繕 ・地下駐車場入口案内看板取替修繕
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市個人情報保護条例及び同施行規則並びに財団規程に基づき、適正に管理運営を行っている。 ②独自の危機管理マニュアルにより、地震や火災、風水害、事故・事件等について、定期的な訓練等を実施し、来館者の安全を守る意識を高めている。また、主催者との打ち合わせで災害弱者の有無を事前に把握し、有事の際に適切な対応ができるよう努めている。 ③当施設の条例及び施行規則や関係法令を遵守し、適正に運営されている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	・1月20日～3月20日までの施設利用者(団体)58団体に「ご利用者カード」への記入を呼び掛け、55団体からの回答を得た。 アンケート質問項目は、「使用会場」「職員の対応」「迅速な対応」「的確な対応」「館内清掃」「備品満足度」「今後も利用したいか」「他施設の候補を考えたか」「利用の決め手」「当施設を以前から知っていたか」「情報媒体」。 ・アンケートの回収数を増やすため、今回もアンケート実施期間を長めに設定した。回収率は前回より上昇したものの、期間後半に発生した新型コロナウイルスの影響で利用団体のキャンセルが相次ぎ回収件数は伸びなかった。 ・アンケートとは別に、来館者・利用者の意見・要望があった場合には、「ご意見受付シート」を作成し、文化センターで情報を共有するとともに、「ご意見箱」を館内(1階会議室ロビー)に設置し、利用者ニーズの向上や改善に努めている。
利用者アンケートの実施結果	○ご利用者カード集計結果 【回収総枚数】55枚(回収率94.8%) 【使用会場】[会議室48]20.0% [多目的ルームB]18.2% [会議室80]16.4% [和室]14.5 [多目的ルームA]10.9% [練習スタジオ]10.9% [展示ギャラリー]7.3% [大ホール]1.8% 【職員の対応】[非常に良い]60.0% [良い]36.4% [普通]3.6% 【迅速な対応】[非常に良い]63.6% [良い]32.7% [普通]3.6% 【的確な対応】[非常に良い]60.0% [良い]36.4% [普通]3.6% 【館内清掃】[非常に良い]65.5% [良い]29.1% [普通]5.5% 【備品満足度】[非常に良い]63.6% [良い]25.5% [普通]10.9% 【今後も利用したいか】[思う]96.4% [思わない]1.8% [無記入]1.8% 【他施設の候補を考えたか】 [考えなかった]45.5% [考えた]41.8%(他施設・・・文化センター、国際会議場、メディアコスモス、ハートフルスクエアG、長良川健康ステーション、商工会議所、OKBふれあい会館、岐阜県美術館、ワークプラザ、明德公民館) [無記入]12.7% 【利用の決め手】[交通の便・駐車場]24.4% [使用料金]15.7% [収容人数]12.6% [岐阜市の施設である]11.8% [利用時間]11.8% [利用目的に合う]11.0% [職員の対応]5.5% [附属設備]2.4% など 【当施設を以前から知っていたか】[はい]83.6% [いいえ]16.4% 【当施設を何で知ったか】[HP・インターネット]71.4% [知人の紹介・口コミ]14.3% [利用相談会・見学会・営業活動]14.3%
利用者からの要望・苦情と対処・改善	アンケート等で利用者から寄せられた意見等に対しては、直接本人に回答するようにしている。 (主な意見と対応) ・和室を定期的に利用希望された新規団体より、ホワイトボードを利用したいとの要望があった。 →和室を利用するその他の利用団体にも確認したところ、ホワイトボードがあれば利用したいという団体が数団体あったため、ホワイトボードを購入し、和室に常設した。 ・練習スタジオにおいてリノリウムを巻く時に巻き芯が変形していて巻きにくい。他の利用者が巻いてある状態のリノリウムの上に乘っていると思われるため、注意してほしい。 →練習スタジオはいろいろなジャンルの団体が利用されるため、リノリウムマットの上には乗らないよう貼紙にて注意喚起した。また、定期的にマットを伸ばして汚れや破損がないかを確認する。 ・Wi-fiが接続できなかった。 →確認したところ機器の故障ではありませんでした。無料提供のWi-fiであり、接続箇所によっては一部電波強度の弱いエリアがございますのでご了承いただきたいと思います。 ・出来れば机の配置を事前にお願したい。 →机の配置などは催し物の準備にあたりますので、施設の貸し出し時間内に主催者様で行っていただいております。会議室48はスクールスタイルで机の配置がされている施設ですので、借用の際はご検討いただければと思います。 ・もっと大きなスクリーンが欲しい。 →施設の広さに応じてスクリーンをご用意しております。大きく映像を映したい場合は、白い壁紙となっておりますので、壁への投影をご案内しております。 ・金額が高いのが難点。 →料金は条例・規則で決まっており、指定管理者で変更をすることは難しいですが、ご要望は岐阜市へ伝えておきます。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等 利用が確保 されること	平等利用を確保するための体制	・岐阜市の文化芸術振興の拠点施設として、住民の平等利用の確保をはじめ、岐阜市の施策に沿った運営を行っているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌、チラシやホームページで広報されているか	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書 の内容が、 対象施設の 効用(設置 目的)を最大 限発揮する ものである こと	文化芸術事業を行っていく上での 方針と主な事業計画	・市民の文化芸術への参加・参画の促進、文化芸術の普及・啓 発、文化芸術を担う人材の育成、優れた文化芸術の鑑賞機会の 提供に積極的に取り組んでいるか	S	S	S
		市民協働を取り組んでいく上での 方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、市民との協働に積極的に取り組んでいる か	S	S	S
		貸館業務・管理業務・舞台業務を 行っている上での方針と主な事業 計画	・岐阜市の文化芸術振興の拠点施設として、文化芸術に関する 相談、助言など付加価値のある貸館業務に取り組むとともに、安 全な管理業務、舞台業務の運営につとめているか	A	A	A
		既存業務の改善、工夫又は新規 の魅力的な提案の有無	・業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握 方法及び対応方策(利用者に対 するサービスの向上)など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応して いるか	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・新規利用者の獲得、リピーター確保による利用促進を図っている か	A	A	A
		サービスの質を確保するための 体制	・施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	A	A	A
		区分評価				A
効率性	事業計画書 の内容が、 管理経費の 縮減が図ら れるもので あること	管理経費縮減の具体的方策	・管理経費は効率的かつ適切に使用されているか ・省エネ管理マニュアルなどをとど、光熱水費削減に努めているか ・収支予算と実績とは大きくかい離していないか	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性(効率的な 管理運営を図るための体制など)	・職員の人材育成に努め、効果的かつ適切な運営体制であるか ・文化センター及び市民会館をあわせた管理運営を効果的に 行っているか	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書 に沿った管 理を安定し て行う物的 能力、人的 能力を有し ていること	スタッフの管理、監督体制など	・事業を実施するために必要な資格や知識・経歴を有する職員を配置し ているか ・より良いサービス、活動を提供するために職員が勤務しやすい職場環 境ができているか	A	A	A
		スタッフの人材育成の方策	・業務に必要な研修を実施し、資質の向上に努めているか	A	A	A
		リスクへの対応方策・能力(利用 者の安全確保策、非常時の対応 マニュアルなど)	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応 できる体制が整っており、実際発生した際には対応ができたか ・また、個人情報保護等法令順守は適切に行われているか	A	S	S
		施設管理業務を行っていく上での 方針と具体策	・施設管理業務を行う上での方針に沿った修繕を行っているか ・各種機械設備の保守点検、危機管理体制の整備、あるいは安全 に十分に留意した管理運営を行っているか	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書 の内容が、岐 阜市ある いは施設 がある特 定の地域 (以下「地 元」とい う。)の振 興、活 性化など に貢献 できる もので あること	地元の文化団体等の育成	・地元のアーティストを活用するなどし、文化団体等の育成に努 めているか	A	S	S
		その他地元への貢献に関する こと	・利用者以外の市民の問い合わせ等に対応しているか。また、地 域の文化芸術を通じた地域振興に取り組んでいるか ・まちのにぎわいへの地域貢献しているか	A	A	A
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	1. 貸し館業務 市民会館大ホールについては、昨年度下半期と比べて利用日数は14日減、利用額が約67万円減であった。リピーターの利用は多少の動きはあるものの、ほぼ例年どおりであったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため自粛要請したことで利用日数、利用額ともに大幅に減少した。展示ギャラリーについては、リピーターの利用は堅調であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため自粛要請したことや岐阜県美術館の工事休館が終了し、代替施設としての利用がなくなったことで利用日数、利用額とも減少した。その他の施設においても、おおむね新型コロナウイルスの感染拡大防止のため自粛要請したことで利用日数、利用額ともに減少した。 3月10日(火)・11日(水)に開催予定であった利用相談会も新型コロナウイルスの感染拡大防止のため下半期は開催できなかった。また、駐車場の利用方法について利用者から分かりづらいとの指摘を受け、鍵を貸し出す際に主催者へ駐車場の利用状況を説明し、施設内にも駐車場利用についての掲示を実施した。 2. 施設管理 耐震補強工事は完了したものの、施設は築50年以上になっており、常日頃からチェックとメンテナンスが欠かせない状況である。利用者の利便性を高め、気持ちよく使っていただけるよう、下記のような対応を取った。 ①ホールの椅子ストッパーゴムが、経年劣化しているため(120席)交換調整を行った。 ②楽屋通路が、雨漏りし利用者に不便をおかけしていたため、水が落ちてくるところに受け皿を設けて床に水が落ちるのを防ぐ応急措置をした。 ③地下駐車場展示ギャラリー入口ほか3カ所のドアノブ錠が経年劣化して不具合があったため取替を行った。 ④大ホールロビーのカーペットが汚損していたため、高圧洗浄機を使用し清掃を行った。 ⑤施設の安全管理に必要な改修工事については、優先順位を決定してすぐに岐阜市に提案するなど、岐阜市と綿密な連携をとり、施設運営を実施した。 ⑥省エネマニュアルに基づき冷房の節減に努めた。また、電力量のピークを管理するデマンド計を導入しており、電気使用量の適正な管理で、電気料金の節約に努めた。 ⑦利用者に施設を安全かつ分かりやすくご利用いただくため、案内表示を刷新した。 3. 市民の劇場・市民ふれあい事業による地域貢献 ①「楽市JAZZ楽団」事業及び同楽団による「地域貢献」事業では、地域の小学校に赴いて演奏を実施したほか、「さんぽde野外ライブ」「第8回ぎふ市場まつり」などの市主催イベントへの出演、ジャズフェスティバルのプレ企画としてクリスマス・ジャズ講座等を実施することで、児童や普段生のジャズ・ポップス演奏に触れることの少ない市民に貴重な機会を提供した。第12回ぎふジャズフェスティバルにおいては1,300名近い来場者があり、地域の活性化に貢献した。 ②「子ども伝統文化体験教室・発表会(和太鼓)&出前講座(能楽)」では市内小学校へ能楽の出前講座を実施し、約100名の児童に普段触れる機会の少ない伝統文化を体験する機会を提供した。 ③「第41回ぎふアジア映画祭」では、アジア各国の多彩な映画の上映に加え、文化講座や岐阜市出身の漫画家宮川サトシ氏のゲストトーク、タイの伝統音楽・伝統舞踊のロビーコンサート等を実施し、上映作品に関連するアジア各国の文化を紹介した。また、映画祭の開催期間中に1,600人以上の来場者があり、岐阜駅から柳ヶ瀬にかけた中心市街地の活性化に貢献した。 ④「市民スタッフ事業」では、「ぎふ文化センター寄席」と銘打って、昨年に引き続き落語をテーマとした「もういちど 家族落語」の映画上映とともに、岐阜県出身の落語家、昔昔亭A太郎氏と岐阜県在住の講師、神田昌味氏の公演を実施することで、昨年を超える480名の来場者があった。アンケート結果からも90%以上の満足度を得ることができ、地域文化の活性化に貢献した。 ⑤市民プロデュース公演応援プロジェクトでは、第26回の採択事業であるオペラ公演の開催を支援した。第27回審査会では、応募があった3団体を採択した。 ⑥「ぎふ演劇ワークショップ2019」では、2月には一般の部を開催し、名古屋で活躍する劇作家が指導した。また、3月の中学生の部は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。 ⑦「岐阜市中学校美術作品展2019」では、各校で特色のある作品の展示を実施した。また、地域の文化である大風の展示を実施するなど、生徒の作品を披露するだけでなく、地域文化を紹介した。 ⑧「戯曲セミナー&リーディング発表会」では、受講生の作品の中から優秀作品を選出し、優秀短編発表会をリーディング形式で開催した。発表会は121名の来場があり、受講者、来場者ともに好評で、岐阜の演劇文化の発展に貢献した。 ⑨「市民スタッフ育成事業」では、昨年に引き続き外部講師を招き「劇場フロントスタッフ研修」を実施し、表方業務の理解を深めた。また、市民参加型の伝統文化事業の先進事例を学ぶため、パロー文化ホール(多治見市)で開催された「たじみde和芸」を視察した。 4. 新型コロナウイルスの感染拡大防止にかかる取組み 【自粛要請期間】令和2年2月26日から ①手すり、ドアノブなどの消毒、特別清掃を実施した。 ②適切な手洗い、咳エチケット等の掲示物やアルコール消毒液の設置をし、来館者に協力を求めた。 ③岐阜市へ貸館状況を毎日報告し、自粛要請期間に利用される場合にはチェックシートの実施等岐阜市からの要請に迅速に対応した。 ④自粛要請の際も利用者に速やかに連絡し、中止や延期などの対応について相談に乗るなど丁寧に対応した。 ⑤新型コロナウイルス感染症の予防対策及び万一感染症発生時の危機管理対策として業務マニュアルを策定した。 ⑥令和2年度自主事業の実施に向け対応方針を早急に定め、事業スケジュールの見直しや関係者との連絡・調整などに努めた。
前回までの意見を踏まえた取組み状況	1. 取組み状況 平成30年度下半期にご指摘いただいたアンケートの回収数増については、今回も引き続きアンケート実施期間を長めに設定したものの期間後半に発生した新型コロナウイルスの影響で利用団体のキャンセルが相次ぎ回収件数が伸び悩んだ。しかし、利用していただいた団体には積極的にアンケートの記入を促すことで回収率は前回より上昇した。 自主事業の料金設定については、自主事業総括表に料金についての記載を加えることとした。また、利用者の中には公演を行う際に座席の設定や料金設定について悩んでおられる方も見受けられるため、自主事業のノウハウを活用し相談に乗っている。 2. 貸館業務・施設管理 これまでも評価いただいたように、年2回実施する利用者アンケートでは多くの項目で「非常に良い」「良い」の合計が90%を超える回答をいただいているが、アンケート満足度の高さに甘んじることなく、常に利用者からのご意見を取り上げていきたい。また、施設の修繕や安全管理に関しては、事故等なく施設運営を行っている。地震や火災等を想定した総合防災訓練を年2回実施しているが、休日や夜間帯は勤務体制が少人数であることを踏まえ、職員を2つにグループ分けし、避難誘導する職員と来場者役に分かれて行うことで、より実践的な訓練とした。また、来場者役の職員を身体障がい者(車いすを利用)と想定し、職員が実際に車いすに乗り、避難の際に不便や不安を感じる点を体験した。さらに、訓練にあたり役割分担については明記せず火元がわからない状態で訓練を行うことでより臨場感のある訓練となった。 3. 市民の劇場・市民ふれあい事業 「楽市JAZZ楽団」事業において、新規メンバーの加入について評価をいただき、岐阜市の冬の一大イベントへと成長した「ジャズフェスティバル」の更なるレベルアップについて意見をいただいた。1月に実施した第12回ぎふジャズフェスティバルでは1,300名近い来場者があり、ダンスや歌を取り入れるなどエンターテインメント性を高めることで、来場者満足度は97%を超えることができた。また、次世代の若者に対し、興味、関心を持ってもらう機会として、「能楽出前講座」で小学生に伝統文化に触れる機会を提供するとともに、「楽市JAZZ楽団地域貢献事業」において実施した。市内小学校を対象とした出前コンサートにおいて、二分の一成人式の講演や在校生との共演など、演奏を聴くだけでなく、アーティストと交流する場を提供した。

今後の取組み	1. 貸し館業務 新型コロナウイルスの感染拡大防止と利用者の安全確保を最優先に、岐阜市と相談しながら貸館業務を実施する。また、臨時休館が終了した際に引き続き利用していただけるよう、臨時休館中も利用団体の日程変更の相談に応じるなど適切なサポートをしていく。定期利用団体を確保していくとともに、上半期において32団体あった新規利用者に継続利用してもらえるよう、積極的な営業活動をしていく。また、上半期の定期利用団体の特徴を分析すると、一般企業、任意団体、子供向けサークルなどでの利用であったので、次回利用相談会では企業、団体や同ジャンルへの営業を強化することで更なる定期利用団体を増やしていきたい。 2. 施設管理 ① 楽屋の壁が経年劣化しているので補修して塗替えを行う。 ② 経年劣化により、大ホール1階の通路の椅子の張地が摩耗しているので張替えを実施する。 ③ 大ホール入口ロビー床のピンコロ石の上に安全のためにマットを敷く。 ④ 大ホールロビーの旧喫煙室を修繕して有効活用する。 3. 市民の劇場・市民ふれあい事業 ①「楽市JAZZ楽団」では、来年1月の第13回ぎふジャズフェスティバル開催に向け、楽団運営を適切に実施していく。 ②「子ども伝統文化体験教室・発表会(琴)」では、7・8月の開催に向け参加者の募集などを実施していく。 ③「音楽の絵本 プリランテ」では、9月の公演実施に向けて準備とPR活動を進めていく。 ④「松竹大歌舞伎」では、9月の公演実施に向けて準備とPR活動を進めていく。 ⑤「第42回ぎふアジア映画祭」では、10月からの開催に向けて、市民スタッフと協力して準備とPR活動を進めていく。 ⑥「市民スタッフ事業」では、市民スタッフと一緒に企画を練り上げていく。 ⑦「市民プロデュース公演応援プロジェクト(公募)」では、11月の企画募集に向けて準備を進めていく。また、前年度採択事業3件の公演実施に向けて支援を適切に実施していく。 ⑧「ぎふ演劇ワークショップ2020」では、7月に中学生の部「岐阜県中学校演劇大会」、8月に高校生の部「アマチュア演劇講習会」を開催する。 ⑨「岐阜市中学校美術作品展2020」では、4月から1か月単位で市内中学校2校による共同展示を開催する。 ⑩「公共ホール現代ダンス活性化事業」では、10月の実施に向け、アーティストやアウトリーチ先との打ち合わせ、公募ワークショップの準備を進めていく。 ⑪「米村でんじろうサイエンスショー」では、8月の公演実施に向けて準備とPR活動を進めていく。 ⑫「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業では、8月に開催する小学生～高校生を対象とした「夏休み体験教室」や、学校を対象とした出前コンサートの準備を進めていく。 ⑬「戯曲セミナー」では、セミナーを8月から月1、2回ペースで実施していく。 ⑭「→Pia-no-jaC← LIVE 2020 in岐阜」では、来年3月の公演実施に向けて準備とPR活動を進めていく。 ⑮「市民スタッフ育成事業」では、市民スタッフの活動に役立つ、外部研修や出張研修の実施準備を進めていく。 4. 新型コロナウイルスの感染拡大防止にかかる取組み ① 手すり、ドアノブなどの消毒、特別清掃を実施する。 ② 適切な手洗い、咳エチケットなどの掲示物やアルコール消毒液の設置をし、来館者に協力を求める。 ③ 岐阜市へ貸館状況を毎日報告し、チェックシートの実施など岐阜市からの要請に迅速に対応する。 ④ 自粛要請、休館の際も利用者に速やかに連絡し、中止や延期などの対応について相談に乗るなど丁寧に対応する。 ⑤ 新型コロナウイルス感染症の予防対策及び万一感染症発生時の危機管理対策として定めた業務マニュアルを運用する。 ⑥ 令和2年度自主事業の対応方針に基づき、公演日程の延期など事業スケジュールの見直しや、関係者との連絡・調整などに努める。 ⑦「楽市JAZZ楽団」では、練習を休止するとともに、5月に予定していたオーディションを延期とする。 ⑧「第42回ぎふアジア映画祭」「市民スタッフ事業」では、従来通りの会議が開催できないため、メール・電話などで市民スタッフと連絡を行うなど会議方法を工夫する。 ⑨「市民プロデュース公演応援プロジェクト(公募)」では、前期の募集と審査会については中止する。
---------------	--

●所管課の意見

適切な人員配置及び業務委託により、安全に十分留意した管理運営が行われている。

市民会館は開館から50年以上経過し、施設・設備機器の経年劣化が進んでいるが、日常の点検業務や計画的な修繕によって施設の維持管理、安全性の確保に努めている。また、異常を早期発見することで、修繕で終えることができており、円滑な施設運営ができていることは評価できる。

指定事業においては、「第12回ぎふジャズフェスティバル」では、ダンスや歌を取り入れるなど、新たな取り組みや工夫を凝らしたことで、来場者数が約1,300人、来場者満足度が97%を超えた。エンターテインメント性を高め、充実したイベントに仕上げたところは評価できる。また、「市民スタッフ事業」では、「ぎふ文化センター寄席」と題し、映画、落語、講談が1日で楽しめる独自性のあるイベントを開催し、480名と多くの来場があった。当日の運営は「司会」「出囃子」などを市民スタッフが担当し、市民ともにイベントを創り上げていく市民協働を実践している。文化の拠点として、新たな取り組みを交え岐阜市の文化の一翼を担っている。

今期は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用者に対し自粛要請したことにより、前年同期と比べ利用者数、使用料収入が減少した。今後も施設の閉館、自主事業の中止など厳しい状況が続くが、適正な管理運営に期待する。

●指定管理者評価委員会の意見

・使用料収入は新型コロナウイルス感染症による影響を除けば、対前年比増として堅調に推移したと考えられる。

・経費支出は、対予算比97%であり、人件費などの削減努力は認められるが、稼働率は必ずしも高いとは言えない状況であるが、市民の文化活動に資するなど地域に貢献しており、今後はより一層幅広い利用がなされるよう方策を検討されたい。